


市民大学院

2023 年度後期

シラバス



一般社団法人
文化政策・まちづくり大学校



2023 年度後期 講義・研究会一覧表

桜美林大学社会人講義	2
京都まちづくり学	3
文化経済学	4
モリス翻訳研究会	5
アダム・スミス研究会	7
明治維新 150 年・異文化交流研究会	8
京都の六斎念仏研究会	9
市民の経済学	10
資本論研究会	11
京都の山と川の経済学と食文化研究会	12
働学研（博論・本づくり）研究会	13
遠野文化資本研究会	15
西陣職人研究会	16
プロジェクト耕作研究会	17
文化施設研究会	18
森嶋学	19
Urban Ecology（都市生態学）	20
McHarg（マクハーグ）研究会	21

講義編

桜美林大学社会人講義

開始のお知らせ・池上惇；順子、転居ご通知を申し上げます。

京都大学・福井県立大学・京都橘大学名誉教授 池上惇

各位

お変わりございませんか。

池上惇も、90歳に達しました。

度重なる病にも、関わりませず、ここまで、生き抜くことができましたのは、各位からの、また、家族からの、ご激励があったからこそ。心より、感謝申し上げます。

長らく、献本へのご評価をいただく仕組みでの、ご支援をいただきました。念願の社会人大学院大学づくりは、市民大学院づくりによる学位取得者や、東日本大震災からの復興支援で、岩手、遠野市や住田町に学舎を持つことができました。これらは、前人未到の峰を超える結果となりました。

学校法人設立は叶いませんでしたが、労働者協同組合法という新たな法制度が発足し、多様な大学への道が拓かれました。多様性を重視した学校づくりで、今後も、努力を続けます。

池上惇といたしましては、90歳を転機として、市民大学院や、国際文化政策研究教育学会は、次世代にお願いし、新たに、全国日本学士会の副会長という要職を拝命しました。

新たな決意を込めまして、高校、大学、大学院までを関連付けた、新たな課題に挑戦いたします。

この大転換期に当たり、二つのお知らせがございます。

一つは、今、普及しました、オンライン講義です。池上惇の転換期に当たりまして、桜美林大学に、ご支援いただきました寄付金から 300 万円を寄付しまして、社会人向けの寄付講座を開講いたしました。東京や関東に、ご在住の各位には、10月3日（火）18時-20時、11月7日、12月5日、同時刻に、桜美林の新宿学舎（JR 大久保駅近く）におきまして、対面で講義します。ご参加、歓迎です。

各地で、ご参加ご希望の場合には、オンラインでお願い申し上げます。

Zoom URL（お申し込みは、神田延男氏、169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1 桜美林大学新宿キャンパス事務室 090-6140-3190）

<https://zoom.us/j/2809449015?pwd=WnZwK2tobWorYUZlIaHJKQjFsT1ZqZz09>

長年のご厚誼に感謝し、一層の、ご自愛を願いつつ。敬具 池上 惇

科目名	京都まちづくり学	担当者	山田浩之 赤崎盛久	
スケジュール	第2、第4火曜日	17:30~19:00	オンラインの有無	無し
日程、概要、目的、講義計画				
<p>日程：令和5年10月～令和5年3月 10月10日、10月24日以降順次</p> <p>科目概要：</p> <p>「まちづくり」は、実に様々な分野が関係してきます。産業、住宅、環境、交通はもちろん、京都の場合は更に観光、文化、宗教（門前町）なども深く関係してきます。それぞれの分野で活躍しておられる方々に、話題提供をしていただいで受講者全員で議論を深めるゼミ方式の授業です。</p> <p>目的：京都のまちづくりを研究する意義として以下の点が上げることができます。</p> <p>① 「文化の発展」が都市の発展において重要な位置を占めるようになってきた今日、1200年におよぶ歴史都市京都は文化によるまちづくりを研究し、実践するにあたりこれ以上の都市はないこと。</p> <p>② 京都は古い事物や建築ほど価値を継承しながら新しい時代の変化に対応しようとする事。</p> <p>③ 京都は学区という濃密なコミュニティに支えられたコンパクトシティのモデルともなりうる事</p> <p>以上、今後のまちづくりのテーマに恵まれた京都でのまちづくりの研究や実践は、これからの都市政策、まちづくりの在り方を考える場合に、多くの都市にとって非常に参考となる。</p> <p>講義計画：</p> <p>原則として各月の第2、第4火曜日にいたします。</p> <p>標準的には60分間の講師による話題提供や問題提起のあと、30分間の質疑応答ならびに議論の時間を設けます。</p> <p>会場：室町高辻西入る旧成徳中学2階</p> <p>参加費用：無料</p> <p>参加申し込み：不要 (公開講座の場合は市民大学院の受講生以外の方は事前申し込み必要とします。)</p>				
教科書・参考文献・その他				
<p>「京都から考える 都市文化政策とまちづくり——伝統と革新の共存」山田浩之・赤崎盛久 編著 ミネルバ書房 2019年11月20日発行</p> <p>問い合わせ：事務局 赤崎 090-1131-7268, Email: zak00336@ybb.ne.jp</p>				

科目名	文化経済学	担当者	中谷 武雄																													
スケジュール	第2、4水曜日	15:00-16:30	オンラインの有無	オンライン&対面																												
<p>科目概要：ジョン・ラスキン『ごまとゆり』(1865)を読む John Ruskin, <i>Sesame and Lilies: Two Lectures delivered at Manchester in 1864, 1865.</i> In E. T. Cook and Alexander Wedderburn, eds., <i>The Complete Works of John Ruskin, the Library Edition, 39 vols., (London: George Allen, 1903-12), Vol.18.</i> 訳文は、木村正身訳、<u>中公クラシックス W52</u> (ラスキン『この最後の者にも ごまとゆり』)、2008年1882年版への序文 p.179 セクション番号なし 第1講 ごま：王侯の宝庫について p.186 §1~50 第2講 ゆり：王妃の庭園について pp.289-362 §51~95 中央公論新社、世界の名著〈41〉『ラスキン／モリス』(1971年)、にも所収</p> <p>ラスキン、経済3部作を終えて、彼のベストセラー『ごまとゆり』に進みます。 良き男性および良き女性の感化力は、女性の最善の力がその日常の行為や品性に示されるとすれば、男性の最善の力はその知的労作に示される。</p> <p>講義計画・日程 (7回を予定)</p> <table> <tr> <td>10/11</td> <td>第1回</td> <td>1882年版序</td> <td>p.179~</td> </tr> <tr> <td>10/25</td> <td>2</td> <td>第1講 ごま：王侯の宝庫について</td> <td>p.186~, §1~</td> </tr> <tr> <td>11/08</td> <td>3</td> <td>同上</td> <td>p.221~, §21~</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>4</td> <td>同上</td> <td>p.252~, §34~</td> </tr> <tr> <td>12/13</td> <td>5</td> <td>第2講 ゆり：王妃の庭園について</td> <td>p.289~, §51~</td> </tr> <tr> <td>01/10</td> <td>6</td> <td>同上</td> <td>p.314~, §64~</td> </tr> <tr> <td>01/25</td> <td>7</td> <td>同上</td> <td>p.338~, §81~</td> </tr> </table> <p>講義資料を事前に配信、成徳学舎での対面講義とともに(音声中心の)オンライン講義を行う。 第2、4水曜日には、13:30から、「文化経営学、文化政策」(池上惇)が開講、 10・11、13:30、第1回目は全体の開講講義を予定。 「現代の福祉」(藤岡純一)は後期は休講です(→開講時間繰り下げ)。 両講義は、同じZoom、URLで続けて視聴可能です。 問い合わせ先：takeo.nakatani@gmail.com</p>					10/11	第1回	1882年版序	p.179~	10/25	2	第1講 ごま：王侯の宝庫について	p.186~, §1~	11/08	3	同上	p.221~, §21~	11/22	4	同上	p.252~, §34~	12/13	5	第2講 ゆり：王妃の庭園について	p.289~, §51~	01/10	6	同上	p.314~, §64~	01/25	7	同上	p.338~, §81~
10/11	第1回	1882年版序	p.179~																													
10/25	2	第1講 ごま：王侯の宝庫について	p.186~, §1~																													
11/08	3	同上	p.221~, §21~																													
11/22	4	同上	p.252~, §34~																													
12/13	5	第2講 ゆり：王妃の庭園について	p.289~, §51~																													
01/10	6	同上	p.314~, §64~																													
01/25	7	同上	p.338~, §81~																													

科目名	モリス翻訳研究会	担当者	池上惇・中谷武雄・小宮弘信・堀田美穂ほか	
スケジュール	原則 隔週・週末	10:00~12:00	オンラインの有無	オンライン (のみ)
日程、概要、目的、講義計画				
<p>講義概要：ジョン・ラスキン『ムネラ・プルウェリス』（1872：Book）を読む 訳文は、木村正身訳、『香川大学経済論叢』掲載、1～5、第22巻4号（1950年3月）、23-1（1950、6）、23-2（1950、8）、23-3（1950、11）、23-4（1951、3）掲載を共通素材として採用、その内容（要約）を報告資料として提供し、解説し、参加者とともに議論する。 訳文は、香川大学学術情報リポジトリ、よりダウンロード、プリントアウト可 →訳稿は後に、『ムネラ・プルウェリス：政治経済要義論』（関書院、1958年）として、単行本出版された。両者、セクション番号は共通。関書院版は、国立国会図書館デジタルコレクションより閲覧可（https://dl.ndl.go.jp/pid/1707999/1/1）。他に訳文は、宇井丑之助訳『ラスキン政治経済論集』史泉房、1981年（*限定出版 未見）、戦前にも数種。 原典（単行本）は、John Ruskin, <i>Munera Pulveris: Six Essays on the Elements of Political Economy</i>, George Allen, 1872. 初出を、改題、多少の改訂、6章に改編（当初論考の3、4本目をそれぞれ2章に分割）、セクション番号付加、+ 序 を加えて単行本出版 First Published in <i>Fraser's Magazine</i>, as “Essays on Political Economy, Being a Sequel to Papers which appeared in the Cornhill Magazine, 1~4”, 1862, 6, 9, 12, & 1863, 4. エヴリマン文庫版はフレーザー誌掲載の原文を収録（Four Essays）</p> <p>参加者で相談して、次の開催時間帯を毎回決めています（週末中心）。 参加希望者は中谷までお問い合わせ下さい。（takeo.nakatani@gmail.com） 英文、参考データ、ほかをお送りします。 モリス、ラスキン、ラファエル前派などに関連する個人研究発表も交えています。</p> <p>次回は、10月15日10:00~12:00、を予定</p> <p>モリス『小さな芸術 社会・芸術論集 I』川端康雄編訳、月曜社、2022年11月20日 これも取りあげてみたい作品です。 帯表：「小さな芸術」「民衆の芸術」「芸術の目的」など、芸術と労働、自然をめぐるモリスの思想を伝える。1870年代の終わりから1880年代にかけての講演8篇を新訳で収録。 全3巻 [第1回配本] 続巻 2：有用な仕事と無用な労苦 3：楡の木陰で 1巻：8篇所収 小さな芸術（レッサー・アーツ） 民衆の芸術 生活の美 最善をつくすこと 文明における建築の展望 生活の小芸術（レッサー・アーツ） 芸術の目的 芸術とその作り手 編者解題 編者あとがき 索引</p>				

研究会編

科目名	アダム・スミス研究会	担当者	中谷 武雄		
スケジュール	原則 隔週 土曜日	10:00~12:30	:	オンラインの有無	無
日程、概要、目的、講義計画					
<p>科目概要：スミスや『国富論』関係を中心に、経済学史、経済思想史や社会思想（史）にかかわる代表的著作を読み進めている。</p> <p>参加者の作成した内容要約のレジメにもとづく報告を受けて参加者で議論をする。</p> <p>採用テキスト：</p> <p>アダム・スミス『法学講義（LJB）』水田洋訳、岩波文庫白105-8、2005年 次回は、第1回、9月30日、65頁まで。以降の予定（日程は要確認） 10月21日：132頁まで 11月4日：200頁まで ……</p> <p>次は、近刊予告の、新村聡『アダム・スミスの大きな政府論：平等と福祉の経済思想』桜井書店に進む予定。</p> <p>コロナ禍、ジェシー・ノーマン『アダム・スミス 共感の経済学』村井章子訳、早川書房、2022年 Norman, Jesse, <i>Adam Smith: What He Thought, and Why it Matters</i>, Allen Lane, 2018、 竹本洋『スミスの倫理：『道徳感情論』を読む』名古屋大学出版会、2020年6月、222頁、5400+税を議論してきました。</p>					

科目名	明治維新 150 年・異文化交流研究会	担当者	金井萬造・枝澤康代	
スケジュール	第3週・月曜日	13:00~14:30	オンラインの有無	対面
日程、概要、目的、講義計画				
<p>日程： 10月17日（火） 11月20日（月） 12月18日（月） 1月15日（月） 2月19日（月） 3月18日（月）</p> <p>科目概要： アメリカにおける19世紀・20世紀の宣教師の取り組みと同時代における日本での精神文化・宗教生活・大学・教会等の文化交流の取り組みを検討して、現・未来の時代におけるリベラルアーツを重視した取り組みについて研究する・ 21世紀の未来社会を展望した時代対応の異文化交流の在り方と京都地域における取り組みについて検討を深めていく。</p> <p>目的： 明治維新から125年が経過して、グローバル化・情報化と地域間の相互理解・文化交流と協働の取り組みが進展している。なかでも、日本の宣教師の取り組みとその条件が変化していることを深く検討し、日本と世界の社会・経済・生活・政治・政策の変化を踏まえて現在の状況を再認識する。さらに現・未来の21世紀における異文化理解のあり方を重視して検討していく。宣教師という専門人材に着目して、時代の変化と対応について深めていく・</p> <p>講義計画： 毎回の報告者と報告レジュメを進めていく。 関連する文献の紹介や取り組み事例について報告する。 提起された課題についての討議・検討も重視して、積み上げていく。</p>				
教科書・参考文献・その他				
毎回の報告者の報告のテーマと報告レジュメによって進めていきます。 関連する文献のご紹介で問題点を深めていきます。				

科目名	京都の六斎念仏研究会	担当者	金井萬造、藤田加代、松本洋子																	
スケジュール	第3月曜日	13:30~15:30	オンラインの有無	対面																
日程、概要、目的、講義計画																				
<p>日程：</p> <p>科目概要：日本の伝統芸能として、能、歌舞伎が代表として挙げられます。しかし、能は武家、歌舞伎は町衆に愛された芸能です。</p> <p>庶民や農民の講のような集団によって「六斎念仏」が行われ親しまれてきました。「六斎念仏」に親しみ、知り、応援してゆくことを目指します。</p> <p>目的：「六斎念仏」を、守り育ててゆくために、未来ある子供たちの「子ども六斎」を応援し、広報発信に取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・京都の六斎念仏に携わっておられる方達において頂き学ぶ 2・和楽器・邦楽について、歴史、種類、楽器の製法や現状を、専門家を招いて学ぶ 3・地域の行事等、見学させて頂く <p>講義計画：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">9月25日（月）</td> <td style="width: 20%;">13:30~15:30</td> <td style="width: 60%;">田中多佳子先生 「日本の音楽と諸外国の音楽の違い」</td> </tr> <tr> <td>10月16日（月）</td> <td>13:30~15:30</td> <td>山田 浩之先生「文化経済学の視点から六斎念仏を考える」</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td></td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> <td>六波羅蜜寺 空也踊躍念仏巖修(重要無形民族文化財)</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td></td> <td>大森恵子先生 「踊念仏から六斎念仏へ」</td> </tr> </table> <p>決まり次第、登録していただいている皆様にお知らせさせていただきます。</p> <p>見学や行事の日程や講師の先生のご都合で日程変更はありますので、事前にお知らせさせていただきます。</p>						9月25日（月）	13:30~15:30	田中多佳子先生 「日本の音楽と諸外国の音楽の違い」	10月16日（月）	13:30~15:30	山田 浩之先生「文化経済学の視点から六斎念仏を考える」	11月		未定	12月		六波羅蜜寺 空也踊躍念仏巖修(重要無形民族文化財)	未定		大森恵子先生 「踊念仏から六斎念仏へ」
9月25日（月）	13:30~15:30	田中多佳子先生 「日本の音楽と諸外国の音楽の違い」																		
10月16日（月）	13:30~15:30	山田 浩之先生「文化経済学の視点から六斎念仏を考える」																		
11月		未定																		
12月		六波羅蜜寺 空也踊躍念仏巖修(重要無形民族文化財)																		
未定		大森恵子先生 「踊念仏から六斎念仏へ」																		
教科書・参考文献・その他																				

科目名	市民の経済学	担当者	波多野進	
スケジュール	第1, 3火曜日	16:00 ~17:30	オンラインの有無	なし

日程、概要、目的、講義計画

日程：毎月第1、第3火曜日に開催。

科目概要：市民の目から見た現代日本経済の諸問題を幅広くとりあげ、意見交換を通じて市民生活の向上に資する政策を探る。

目的：

- 1)現代日本経済の諸問題について、参加者の認識を深める。
- 2)生活者として視野を日常から社会全般へ広げる。
- 3)日本の経済と社会のゆくえについて見通しを持つ。

講義計画：

1)進め方

毎回、参加者の一人から報告を行い、意見交換する。テーマは、報告者が日常生活で課題と感じる現代日本経済の問題から選ぶ。重要テーマについて、専門家をゲストスピーカーとして招聘することも想定する。

- 2)とりまとめ：前後期を通じて、報告と意見交換の結果、その他の知見をとりまとめ、年度報告を作成する。

3)スケジュール：毎月第1、第3火曜日開催（2023年度後期）

前期と同様に隔週火曜の午後に開催。

10/3

10/17

11/7

11/21

12/5

12/19

1/16

2/6

2/20：取りまとめ

3月は休み

教科書・参考文献・その他

指定しない。

科目名	資本論研究会	担当者	藤本文朗	
スケジュール	第4土曜日	14:00～	オンライン の有無	無
日程、概要、目的、講義計画				
教科書・参考文献・その他				
不破哲三 『資本論』 全三部を読む」 新日本出版				

研究会名	京都の山と川の経済学と食文化研究会	担当者氏名	岸本正美・岸本直美
スケジュール			講義形態
日程、概要、目的、研究会計画			
<p>可能な範囲で成徳学舎 2 F で対面中心オンラインも併用</p> <p>目標：</p> <p>① 「オタギ学（序説）2016 年を基礎にしながら、その後の研究蓄積を論文化していきたいです。</p> <p>② 「京都市内の川・山」を経済的に見つめ直し、関西圏との繋がりの中で、整理していきたいです。</p> <p>③ 該当地域は、都の食の提供地域でもあったことを捉えて、地域的分業の事例としても整理したいです。</p> <p>日程</p> <p>9 月 26 日（火曜日） 鴨川一帯</p> <p>10 月 31 日（火曜日） 桂側一帯</p> <p>11 月 28 日（火曜日） 宇治川一帯</p> <p>2 月 27 日（火曜日） 琵琶湖疎水・洛中の川</p> <p>3 月 研究のまとめ</p>			
教科書・参考文献・その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・池上惇「学習う社会の創造」（京大学術出版会）2022 年 ・「岸本正美オタギ学（序説）」市民大学院 2016 年 ・鈴木康久他「京都北山の山と川」（中公新書）2022 年（基本テキストとして使用） ・写真集「京都の年中行事」（講談社） 2020 年 ・寺島良保他「和漢三才図絵」 東洋文庫 1992 年版 ・鈴木英之「句集 北山時雨」（京大農学部の同期生の自家出版） ・八木透「愛宕神社と祈り」2011 年 ・岸本正美「愛宕山と愛宕信仰」（2022 年度「地域文化史研究会」の『研究ノート』）等 2022 年度 岸本直美の食文化研究ノート 			

科目名	働学研（博論・本つくり）研究会	担当者	十名 直喜 （事務局：太田信義、濱真理、澤稜介）
スケジュール	第 曜日	～	演習形態 オンライン 研究発表
日程、概要、目的、演習計画			
<p>日程： 2023年10～12月予定</p> <p>月例会は、月1回（月末から第2土曜）14～17時、オンライン開催です。</p> <p>10月21日（土）、11月18日（土）、12月23日（土）の各URLは、下記の通りです。</p> <p>各月例会の趣旨やプログラムは、ML（メーリングリスト）などで毎月複数回お知らせしています。参加、発表を希望の方は、十名（tona@iris.eonet.ne.jp）までお知らせください。</p> <p><第50回働学研オンライン研究会：2023年10月21日 02:00 PM> https://us06web.zoom.us/j/87302772259?pwd=WFQvK0xWbJjBdJJPbVY2T01kRHFQZz09 ミーティング ID: 873 0277 2259 パスコード: tona1021</p> <p><第51回働学研オンライン研究会：2023年11月18日 02:00 PM> https://us06web.zoom.us/j/89059366456?pwd=YVhuNndQWXYvcG51L0c4QzQ0NDAvUT09 ミーティング ID: 890 5936 6456 パスコード: tona1118</p> <p><第52回働学研オンライン研究会：2023年12月23日 02:00 PM> https://us06web.zoom.us/j/88236066308?pwd=WIVNS3lWa1RuUTZJdnFXRk9jWWJYQT09 ミーティング ID: 882 3606 6308 パスコード: tona1223</p> <p>研究会概要：</p> <p>働学研（博論・本つくり）研究会、略称：働学研は、2019年7月に発足しました。月1回、月例会を開催しています。新学期の1回目（10/21）は、第50回月例会となります。月例会の他にも、博論検討会や書評会なども随時開催しています。</p> <p>成徳学舎にて産声を上げ、国際文化政策研究教育学会、基礎経済科学研究所他にも広げてきました。2020年7月以降は、オンライン開催をベースにしています。</p> <p>働学研は、数名から出発し、多くの方からご支援をいただきながら歩んできました。月例会には毎月、20～30 数名の方にご参加いただき、数本（+α）の研究発表を基に、活発な議論が行われています。これまで発表・参加いただいた方（120名余）には、MLにて各種のお知らせをお送りしています。</p> <p>主宰者（十名直喜）の想定を超えて、多彩な研究交流や出会い、ライフワークとしての単著書出版や博士号取得などが実現しています。</p> <p>目的：</p> <p>働学研は、研究の初心者から熟達者に至る社会人研究者の多様なニーズ（A～E）に応え、楽しく真摯に議論できる研究交流の場として、2019年7月に発足しました。</p> <p>仕事と人生を見つめ直したい、学び直したい、深め究めたい。社会人の知的探求・発達要求は、実に広く切実なものがあります。</p> <p>働学研にご参加いただき、多彩な仕事・人生現場の息吹を迫体験しつつ、学びあい磨き合う場として</p>			

活用され、研究の仕方、論文作成の要領やコツなども体得していただきたく思っています。

他方、社会人大学院は少なくありませんが、在野の社会人研究者への支援は十分とはいえません。彼らに伴走し研究成果を受けとめ、助言し洗練化等を行ったうえで学位（論文博士）を出すことが、近年難しくなっています。本研究会は、近隣大学院や大学人研究者とも連携してそうした時代状況を切り拓き、博士論文づくり、博士号の取得、単著書出版などを、社会人研究者が実現できるように支援する研究会です。

演習計画：

参加者が、自らの仕事や産業、地域、生活などを研究対象とし素材にして、論文やレジメなどをまとめて発表し議論する。それをふまえて、論文などを洗練化していく。そのようなやり方で、運営しています。創造的な仕事・研究人生を、各位が主体的に切り拓いていく。その大事業に、伴走し支援していく所存です。

下記に示すように、社会人、大学人など多様な分野の方が参加されています。研究分野、水準も多岐にわたっています。

A：これまでの仕事と社会活動、問題意識を深く考察し、論文や随筆にまとめたい。また、学術誌などに発表したい。

B：これまでまとめてきた論文や随筆を体系的に編集し、足りない部分を加えて、1冊の本にしたい。

C：上記Bを博士論文に仕上げ、申請・審査を経て学位（博士号）を取得したい。

D：博士論文を洗練化して学術書として出版したい。

E：いずれも成就しているが、さらなる高みをめざしたい。

これまでの研究や仕事、生き方をまとめたい（AB）。さらなる高みを極めたい（CDE）。

まずは、ABのような思いを抱かれている方の参加を促して、すそ野を広げていく。さらに（CDEに示すように）、博士論文づくりへの支援にも力を入れ、社会人博士の誕生、単著書の出版を図っていく。そのような幅広い視点から取り組んでいます。

社会人博士の新たな誕生も、カウントダウンに入っています。

発表資料・参考文献・その他

毎月の発表資料ファイルは、開催の数日前にMLで、発表資料フォルダURLを開示しています。URLをクリックすると、一連の資料が閲覧できます。

月例会の本番では、発表&議論が毎回盛り上がり、切磋琢磨し合う貴重な機会となっています。終了後は、「ご報告」（議事録）をまとめ、そのファイルと動画URLを、MLにてすみやか（1-2日後）にお送りしています。

事前、事後にわたり、多様な形で学び研究交流する機会となっています。

科目名	遠野文化資本研究会	担当者	金井萬造		
スケジュール	第4週・日曜日	14:00~15:30	オンラインの有無	対面	
日程、概要、目的、講義計画					
<p>日程： 10月21日（土）・22日（日）：遠野市・蔵の道ギャラリー2階、11:00~16:00 「布のある暮らし展」（参加）</p> <p>11月26日（日）：成徳学舎 12月24日（日）：成徳学舎 1月28日（日）：成徳学舎 2月25日（日）：成徳学舎 3月24日（日）：成徳学舎</p> <p>科目概要： 遠野と京都の文化資本の取り組みについて検討をしていきます。 各地の事例等の検討の対象です。 これまでの交流面での地域に文化資本の活用についても研究をしていきます。</p> <p>目的： 地域の文化資本を活用しての地域創生・再生と地域経営や人材の育成・技術向上について研究を深めていきます。 21世紀の情報化とグローバル化対応や地域間交流についても検討していきます。 ビジネスモデル化についての一般系の在り方と普及の仕方と定着化について検討していきます。</p> <p>講義計画： 毎回、遠野と京都における取り組みを整理して報告すると共に、研究報告と意見交換や取り組みの在り方、事業の企画化について検討していきます。</p>					
教科書・参考文献・その他					
<p>毎回のレジュメ報告と参考文献の紹介で進めていきます。 参考文献：「学習社会の創造」（池上惇先生著）</p>					

講義科目名	西陣職人研究会	担当者・職 氏名	西陣麻島織物 代表取締役 麻島正資
スケジュール			講義形態
日程、概要、目的、講義計画、内容			
<p>I 京都市・府の伝統産業工房への訪問、工房見学を研究会の中心に熟練職人の手仕事を体感するとともに現場から「京都の文化資本」を考えていきます。</p> <p>II 京都文化資本、京都の伝統産業、環境保全を歴史的な視点から見つめ、どのように形成されていくのか？今後の発展と方向性、未来を研究致します。</p> <p>京都市上京区、古武氏京町屋と染工場訪問 京都市北区、西陣金襴織物工房と織姫神社参拝 京都市伏見区、草木染工房訪問</p> <p>※各研究会は、工房が小さい為、工房から人数制限があり、こちらで調整させていただきますので、御了承ください。</p>			
教科書・参考文献・その他			
「京都の歴史」学芸書林、1970年 「伝統工芸品技術事典」伝統的工芸品産業振興協会、1980年 「織物組織意匠法」田島弥一、1981年 「西陣襟飾百年」西陣織ネクタイ100周年記念誌編集委員会、1992年 「西陣グラフ」「西陣年鑑」西陣織工業組合			

科目名	プロジェクト耕作研究会	担当者	廣瀬 滋		
スケジュール	毎月第1 土曜日	1 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0	オンライン の有無	無	
日程、概要、目的、講義計画					
<p>日程： 10月7日、11月4日、12月2日、2月各月第1土曜日</p> <p>科目概要：文化資本の事業化に繋がるプロジェクトの耕作のための交流を</p> <p>目的：多様な研究者や職能経験者の体験、智慧の交流を通して、今後の文化資本アカデミー「新しい学びの場」の実現のための具体案の検討、企画</p> <p>講義計画：担当者がプロジェクトを立ち上げるための、テーマを提起しながら、参加者からの色々なアイデアの交流を図り、有効な実現可能なプロジェクトを模索する</p>					
教科書・参考文献・その他					

科目名	文化施設研究会	担当者	中谷 武雄	
スケジュール	原則 隔週 月曜日	10:00~12:30	オンラインの有無	無
日程、概要、目的、講義計画				
<p>講義計画：暮沢剛巳『ミュージアムの教科書：深化する博物館と美術館』 青弓社、2022年5月27日、301頁、2400+税、進行中</p> <p>9月25日（月曜日、10:00-、成徳学舎）、暮沢剛巳（2022）『ミュージアムの教科書』7章：上野公園の美術と記憶、です。</p> <p>次々回、10月16日、10月30日を予定（8章：思想としての日本民藝館、以下順次）。</p> <p>以降、次の2章が残ります。9章：セゾン美術館から森美術館へー＜文化＞の転換と美術館 10章：グローバリゼーションとICOM職業倫理規程ーミュージアムスタディーズの観点から</p> <p>次の教科書候補は、中村美帆『文化的に生きる権利：文化政策研究からみた憲法第25条の可能性』春風社、2021年3月、379頁、4500+税、</p> <p>はじめに：生存権における「文化」の意義</p> <p>第1部：憲法第25条における「文化」</p> <p>第1章：憲法第25条に関するこれまでの議論と課題</p> <p>第2部：日本国憲法と「文化」</p> <p>第2章：憲法第25条の成立の経緯</p> <p>第3章：日本国憲法成立過程における「文化」</p> <p>第4章：付帯決議「文化国家」概念に見える敗戦直後の「文化」</p> <p>第3部：生存権と「文化」</p> <p>第5章：戦前の生存権の思想史における「文化」</p> <p>第6章：憲法第25条の「文化」の意義</p> <p>第7章（結論）：文化政策からみた憲法第25条ー文化権としての可能性</p> <p>おわりに：文化と人権</p> <p>帯表：文化政策を研究する著者が、日本国憲法第25条に「文化」という語が入っていることの意義、そして第25条を文化芸術政策の基本理念である「文化権」の根拠規定として読むことの可能性と課題を明らかにする。</p> <p>帯裏：日本国憲法の条文でたった一度だけ登場した第25条の「文化」概念について、その意味するところを原点に立ち返って確認して将来の解釈に生かそうとする本書の試みは、芸術文化支援の法的根拠探しのよう直ちに現場の問題解決にはつながらないかもしれない。しかし長期的に日本の文化政策の今後の議論を支える基盤となる理論の整備に通じる。（本文より）</p> <p>参加者の作成した内容要約のレジメにもとづく報告を受けて参加者で議論をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学文化資源学研究室編『文化資源学：文化の見つけかたと育てかた』新曜社、2021、11、2600+税、 ・西郷南海子『デューイと「生活としての芸術」：戦間期アメリカの教育哲学と実践』京都大学学術出版会（プリミエ・コレクション）、2022年 などを議論してきた。 				

科目名	森嶋学	担当者	中西康信
スケジュール			オンラインの有無
日程、概要、目的、講義計画			
『資本と信用』			
11月5日(日) 14時 成徳学舎			
参考文献・その他			

科目名	Urban Ecology (都市生態学)	担当者	Harvey A. Shapiro 大阪芸術大学名誉教授	
スケジュール	金曜日 月1回	11:00～ 12:30	オンラインの有無	なし
日程、概要、目的、講義計画				
<p>科目概要：自然は都市環境のどこにも広がり、Natural Processes(自然の作用)として、それぞれの要素を結びつき Ecosystem(生態系)を作り出している。今年度、Sister Cities(姉妹都市)である Chicago と大阪市の環境について学びながらそれぞれの都市を比較しながら、Given Form(原形態)に対して Made Form(人工形態)はいかに適用したことを学ぶ。テーマは Chicago であつたが、Chicago を中心に大阪市と比較しながら考える。</p> <p>キーワード：歴史、自然、環境、文化 講義計画：各回のテーマ:(変更可能性あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Chicago と大阪市の歴史と発展 ・ Chicago と大阪市の地質と地形 ・ Chlcago と大阪市の水と水系環境 ・ Chicago と大阪市の自然災害 ・ Chicago の都市計画 ・ Chicago と Frank Lloyd Wright ,等 				
参考文献・その他				
参考文献、その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ "大阪原風景"、大阪都市環境会議編、1980年。 ・ "大阪地盤図"、大阪市出版、1987年。 ・ "Above Chrcago" , R. Cameron&N. Gruener, Cameron Co. ,2013年. ・ "A Natural History of the Chicago Region" . J. Greenberg,2002, 他。 				

科目名	McHarg (マクハーグ) 研究会	担当者	Harvey A. Shapiro 大阪芸術大学名誉教授	
スケジュール	参加者と相談する	月1回程度 (第4) 金曜日	オンラインの有無	なし
日程、概要、目的、講義計画				
<p>科目概要：市民大学院において3年間、私の恩師であった世界的に著名な都市・地域生態計画者 Prof. Ian L. McHarg の計画哲学にもとづいた国内外の実例を紹介しようと思いました。しかし、McHarg 先生の人物像については、まだ詳しく話していません。この研究会では、彼の自伝 <i>A Quest for Life</i> をあえて英語で紹介してみたい。もし可能なら、希望があれば、参加者と、できるだけ英語で discussion したいと考えています。また、自伝を読みながら、興味、あるいは関心のある人は Shapiro と contact をとって、相談しましょう (hashapiroinkyoto@gmail.com)。</p> <p>講義計画：講義参加希望者と Shapiro との話し合いによって決めます。</p> <p>研究会メンバーに：英語力を伸ばしたい、生かしたい参加者は、充実した時間を過ごせます。</p> <p>実施方法：reading and discussion (できるだけ英語で)</p> <p>採り上げるテーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A New Life (新生活) 2. Retrospect and Prospect (振り返りと期待) 				
教科書・参考文献・その他				
<p>Ian L. McHarg, <i>A Quest for Life: An Autobiography</i>, John Wiley & Sons, Inc., 1996</p> <p>Harvey A. Shapiro, <i>Prof. Ian L. McHarg, His Life and His Quest</i> (ハーヴィー・A. シャピロ『大樹、イアン・L. マクハーグ教授：自然・環境に生涯を捧げた巨人』)、京都市民大学院、2020年11月20日</p> <p>ほか</p>				

市民大学院
一般社団法人
文化政策・まちづくり大学校

発行 一般社団法人文化政策・まちづくり大学校 事務局

発行日 2023年9月20日(水)

場所 京都市下京区高辻通室町西入る繁昌町290番地